

韓国語母語話者による 和製英語の理解

玉岡賀津雄・林 炫情(Lim Hyunjung)・
池 映任(Chi Yeongim)・柴崎秀子

キーワード：和製英語，韓製英語，日本語の語彙力，第二言語習得，韓国語母語話者

1. 外来語の使用頻度

橋本(2006)は、『毎日新聞』の社説で使われる外来語の調査で、大正以降の社説における外来語の量的推移は、Logistic 曲線で表すことができるとして、S-curve モデルを当てはめている。つまり、大正(1912年—1926年)から昭和(1926年—1989年)にかけて、太平洋戦争前(1940年)まではなだらかに増加した後、昭和の戦後(1945年から)の前半の間は、増加率が加速して、加速率の高い変曲点にむかう。そして、昭和の戦後の後半から平成17年(2005年)までは、増加率は徐々に減速して飽和水準となると説明している。特に、1994年から2002年までの9年間では、語彙に占める割合は平均5.0%であり、ほぼ一定していると報告されている(橋本, 2004, 2007)。ただし、昭和の戦後の前半と後半がどこで区別されるかについては、論文には記されていない。この外来語の割合の量的推移は新聞の社説についてであるが、雑誌の場合はかなり異なっている。国立国語研究所(1964)が実施した90種類の雑誌1年分の語種調査では、延べ頻度で、和語が53.9%、漢語が

41.3%, 外来語はわずかに2.9%, 混種語は1.9%に過ぎなかった。また, 異なり頻度でみると, 和語が36.7%, 漢語が47.5%, 外来語は9.8%, 混種語が6.0%であった。ところが, 1994年に出版された70種類の雑誌で使われた外来語の集計(国立国語研究所, 2005)では, 異なり頻度で33.8%と高い割合となっている。

日本語教育では, 『日本語能力試験出題基準【改訂版】』(国際交流基金・日本国際教育協会, 2002)を, 日本語学習者の語彙習得目標の目安にすることが多い。それによると4級の語彙は728語, 3級の語彙は1,409語, 2級の語彙は5,035語, 1級の語彙は8,009語が掲載されている。これら掲載された4級の語彙のうち, 混種語の1語(「コピーする」)を含む62語(「テープ」と「テープレコーダー」, 「キログラム」と「キロメートル」などは別々にカウント)が外来語であり, これは全体の8.52%(計算は, $62 \div 728 \times 100 = 8.52\%$)。以下, 同様の計算にあたる。3級の語彙(4級の語彙を含む)では, 外来語は107語(混種語は「コピーする」と「チェックする」の2語)掲載されており, 全体の1,409語に占める割合は10.20%である。2級と1級(3級と4級の語彙を含む)は一緒に語彙が掲載されており, 外来語は533語(混種語が「オーバーする」, 「消しゴム」, 「サボる」, 「ジェット機」, 「ダブる」, 「ローマ字」の6語)で8,009語に占める割合は6.66%である。このように, 外来語は1級レベルで7%以下くらいの割合である。これは, 1994年に出版された雑誌に使われる外来語の頻度が33.8%の割合であること(国立国語研究所, 2005)を考えると, 外来語の語彙数が少なく抑えられているといえよう。しかし, 新聞の社説での割合が5.0%くらいであること(橋本, 2004, 2007)を考えると, 日本語の学習語彙としての外来語は, 新聞の論説的な文章に比べ, 多少高い割合に設定されているといえよう。

2. 和製英語とその種類

日本語で使われる外来語にはいくつかの種類があるが, その中に「和製英語」(「和製外来語」あるいは「和製洋語」ともいう)と呼ばれるものがある。それは, 「英語から入った外来語を構成要素とする日本語化された単語」のことで, もともとの英語とは意味が異なっている。しかし, 日本人はこれらの和製英語を英会話でも使ってしまうことから, 英語表現の誤りとして取り

上げられることが多い(例えば、石戸谷, 1987; 尾崎, 2005; ウェインライト, 2004; 脇山, 1985; 山田, 1995, 1996)。そのため和製英語は否定的に捉えられ、「通じない英語」であるとして、『恥ずかしい和製英語』(ウォルシュ, 2005)という本も出版されている。つまり、日本人が英語だと思って使っている和製英語は実は日本語であり、英語母語話者には通じず、混乱を招くと考えられているのである。しかし、日本語の側からみると、和製英語は、英語に存在するかどうかにかかわらず、いずれも日本人の発想で作られ、日常的に使われており、れっきとした日本語の語彙である。したがって、日本語の学習という観点から考えれば、和製英語も習得すべき語彙であることに違いはない。このような状況を受けて、和語や漢語とともに、外来語を大きく取り上げた日本語学習者向けの書籍(彭, 2003)も出版されている。

柴崎・玉岡・高取(2007)は、和製英語を4つのタイプに分類している。1つ目は、英語として存在するが、英語の意味とは異なる意味で使われるものである。例えば、英語の smart は頭が良いという意味であるが、日本語の「スマート」は体形が細くて見た目が良いという意味になる。2つ目は、英語の単語を変形、あるいは短縮して作られたものである。例えば、英語の department store は、日本語では短縮されて「デパート」という。3つ目は、英単語には存在しないが日本語のなかで使われるようになった外来語である。例えば、日本語の「ナイトー」は英語では night game であり、そのような英単語は存在しない。4つ目は、実際に存在する英単語を組み合わせることで英単語にはない新しい意味を表すようになった合成語である。例えば、「モーニングサービス」は「喫茶店などで、午前中にする割引メニュー」のことを意味する。もちろん、「モーニング」と「サービス」はそれぞれ英単語として存在する。しかし、この組み合わせは英語には存在しない。

3. 本研究の目的—和製英語と韓製英語

前節で述べた1つ目から3つ目までの種類の和製英語については、基本的に英語の単語1つについての使い方の違いや短縮からくる日本語との相違である。本研究では、簡単な英語の複数の語彙からの類推が要求される4つ目の和製英語(合成語)に焦点を絞って研究することにした。この種の和製英語は、合成語を構成する個々の単語が簡単であるだけに、英語知識からの推測

が難しいと思われる。例えば、よく使われる和製英語に「ボディー」と「チェック」から作られている「ボディーチェック」がある。この語は、そのまま英語にして理解しようとする、税関で役人に突き飛ばされるような印象を受ける(ウォルシュ, 2005)。これは、英語の body check が「アイスホッケーで自分の体を使って相手の動きを阻止すること」(松本・松本, 1988, p.216)を意味するからである。こうした税関などで行う検査のことは、英語では、security check とか body search などと表現する。英語母語話者は、こうした和製英語のことを、皮肉を込めて Japlish とよぶこともある。

この種の借用語は韓国語にもある。これは、「和製英語」に対して「韓製英語」と言えるのではなかろうか。この表現は韓国語にはないが、以下、本研究では韓国式英語(Konglish)としてこの表現を使う。たとえば、韓国語で携帯電話を意味する表現は핸드폰で、英語では hand phone に相当する。当然、このような英語表現は存在せず、英語では cellular phone あるいは mobile phone とよぶ。さらに、韓製英語には日本語から入った表現も多く、これらは Koreanized Japanese あるいは省略して Kopanese と呼ばれている。たとえば、「ドクターストップ」は、日本語の場合と同様に doctor と stop の組み合わせで、医師の判断で喫煙や飲酒を止められることを意味している(生島・武村・福永, 1995)。もちろん、「ドクターストップ」は英語にはなく、stop が bus stop の「バスの停留所」などに使われることから、英語母語話者は、医者への訪問診療のような印象を受ける。この和製英語は、韓国語では「닥터스톱」と言われ、日本語と同じ意味で韓国語の『NAVER 国語辞典』(krdic.naver.com の検索プログラムを使用)に掲載されている。

本研究では、日本語学習において、学習者の語彙力が向上するとともに、和製英語の意味の理解も高まると仮定し、韓国語を母語とする日本語学習者を対象に、日本語の語彙力が和製英語の理解に生かされるかどうかを検討した。また、韓国語には日本語と同じ意味を持つ和製英語が存在しているが、これがはたして和製英語の理解に影響しているのかもあわせて検討した。さらに、各和製英語についての特徴についても、日本語学習者の正答・誤答に基づいて記述的に分析した。

4. 調査の方法

4.1. 被験者の特性

韓国語母語話者については、2004年9月に、韓国の済州島にある済州大
 学校に在学する学生110名を対象に行った。日本語学習経験の有無を検討
 するために、日本語を2年以上学習した経験のある学生66名(女性が16名、
 男性が50名)と、まったく日本語を学んだことのない学生44名(女性が28
 名、男性が16名)に対して、30種類の和製英語の理解に関する質問紙調査
 を行った(補記を参照)。全体の男女の内訳は、男性が66名と女性が44名
 であった。被験者全体の年齢の平均は21歳10ヶ月(標準偏差は2歳9ヶ月)
 で、最も若かった被験者が18歳9ヶ月、最も年長であったのが32歳7ヶ
 月であった。また、日本人大学生63名に対して、同じ和製英語の調査を行
 い、本調査で用いた和製英語が、日本語母語話者にどのくらい理解されてい
 るかの基準とした。これらの日本語母語話者は、女性が39名、男性が24
 名であり、平均年齢は19歳と3ヶ月、年齢の標準偏差は9ヶ月であった。

4.2. 研究対象とする和製英語の選択

表1に示したように30種類の和製英語を選定した(後に、「ホームドク
 ター」と「テーブルセンター」の2語については日本語母語話者の正答率が
 70%以下になったので分析から外した)。すべての和製英語は、基本的には
 2語の英単語(「マンツーマン(man to man)」と「ワンルームマンション(one
 room mansion)」は英単語3語からなる)から成り立っており、それぞれの
 単語の意味は比較的簡単なもののみを選んだ。例えば、「ベッドタウン」の
 場合、「ベッド」は英語ではbedであり、日本の家庭でも寝具として普及し
 ている。また、「タウン」は英語ではtownで、「町」を意味しており、たい
 いての大学生が知っていると思われる。この2語を組み合わせた「ベッドタ
 ウン」という語は、「大都会の機能集中を分散させるためその周辺に建設し
 た住宅地」(松本・松本, 1988, p.206)の意味であり、もちろん英語にはない
 和製英語である。和製英語の選択の手順として、第1に、本研究で採用した
 30種類の和製英語(分析は28種類を使用)を構成する単語は、できるだけ国
 際交流基金・日本国際教育協会(2002)が出版している『日本語能力試験出
 題基準』の「語彙」に掲載されているものを選ぶようにした。しかし、「マ

表1 調査に使用した和製英語の刺激項目の韓国語と日本語の辞典における掲載の有無、コーパスでの印刷頻度および日本人母語話者の正答者数と正答率

調査に使用した 和製英語	日本語能力試験 出題基準(2002)	『広辞苑』 第五版(1998)	『パーソナル カタカナ 語辞典』(1999)	朝日新聞での印刷頻度 (天野・近藤, 2000, 2003)	『NAVER 韓国語辞典』 (韓国語)	韓国国立国語研究院 (2002)のコーパス	日本語母語話者(n=63)	
							正答者数	正答率
ドクターストップ	×	○	○	50	○	0	60	0.952
ベッドタウン	×	○	○	342	○	0	61	0.968
アフターサービス	×	○	○	16	○	4	63	1.000
マンツーマン	×	○	○	145	○	0	63	1.000
ハイウェイ	×	○	○(「ハイウエー」も有り)	6(328)	○	1	60	0.952
オープンカー	×	○	○	167	○	1	63	1.000
デッドボール	×	○	○	11	○	0	63	1.000
スキンシップ	×	○	○	127	○	0	61	0.968
ワンルームマンション	×	○	○	303	○(「ワンルームアパート」)	0	62	0.984
ライブハウス	×	○	○	315	×	0	62	0.984
モーニングサービス	×	○	○	17	×	0	63	1.000
ヘアルック	×	○	○	15	×	0	63	1.000
ペーパードライバー	×	○	○	34	×	0	61	0.968
シルバーシート	×	○	○	122	×	0	62	0.984
ツーショット	×	○	○	41	×	0	63	1.000
マイペース	×	○	○	469	×	0	63	1.000
モデルルーム	×	○	○	129	×	0	63	1.000
ポケットベル	×	○	○	613	×	0	57	0.905
レースクイーン	×	○	○	11	×	0	62	0.984
ワンパターン	×	○	○	49	×	0	63	1.000
ゲームセンター	×	○	○	483	×	0	57	0.905
ダイアルイン	×	○	○(「ダイヤルイン」で有り)	0(11)	×	0	59	0.937
ミスコンテスト	×	×	○(「ミスコン」も有り)	42(56)	×	0	62	0.984
ゲームソフト	×	×	○	589	×	0	62	0.984
チャイルドシート	×	×	○	119	×	0	62	0.984
タイムサービス	×	×	○	7	×	0	63	1.000
ニューハーフ	×	×	○	4	×	0	63	1.000
マナーモード	×	×	×	0	×	0	63	1.000
分析から外した項目:								
テーブルセンター	×	○	○	10	○	0	32	0.508
ホームドクター	×	○	○	49	×	0	42	0.667

注1: ○は掲載されている和製英語を示し、×は掲載されていない和製英語を示す。

注2: 朝日新聞の頻度データ(天野・近藤, 2000, 2003)は、1985年から1998年の14年間の印刷頻度で、延べ形態素数は287,792,797、重なり頻度341,771からなる。

注3: 朝日新聞での印刷頻度の()内の数値は、『パーソナル カタカナ語辞典』の()内の和製英語の表記頻度を示す。

注4: 表1の韓国語コーパスの頻度は、韓国国立国語研究院(2002)で調べた。このコーパスは、2000年～2002年度の韓国国語使用頻度調査結果から作成されており、単語組の形態素数は、重なり頻度が58,437で、延べ頻度が1,484,463である。

ンツーマン」の「ツー(to)」や「ダイヤルイン」の「イン(in)」のように前置詞などが含まれるものもある。これらの前置詞は日本語能力試験の出題基準には含まれていない。そのため、実際には、和製英語を個々の単語に分けた場合の62単語(3語からなる和製英語が2種類ある)の内31単語が日本語能力試験の出題基準に掲載されていた。

掲載されていないものは、例えば、上に挙げた前置詞以外に、「マナー(manner)」、「スキン(skin)」、「ライブ(live)」、「ハイ(high)」、「ウェイ(way)」、「シルバー(silver)」、「ペース(pace)」、「モード(mode)」、「ワン(one)」、「ハーフ(half)」などである。

第2に、『パーソナルカタカナ語辞典』(1999)を使用して、選択した和製英語が日本語として存在するかどうかを確認した。その結果は表1に示したとおりである。この辞典には、「ハイウェイ」は、「ウェ」と拗音で表記したものだけではなく「ウ」と「エ」との2つの清音で表記した「ハイウエー」も載っている。また、「ダイアルイン」は「ダイヤルイン」、「ミスコンテスト」は短縮語の「ミスコン」の形で掲載されている。しかし、「マナーモード」だけはカタカナ語辞典にない。さらに、『広辞苑』第五版(1998)で調べたところ、表1に示したように24種類の和製英語が掲載されており、6種類は掲載されていないことが分かった。しかし、これら6種類も日本語でかなり頻繁に使われている単語である。実際、1985年から1998年までの14年間の朝日新聞に使われた語彙の印刷頻度(天野・近藤、2000、2003)を調べると(総形態素数の重なり頻度が341,771語で、延べ頻度が287,792,797語)、「ゲームソフト」は589回、「チャイルドシート」は119回、「タイムサービス」は7回、「ニューハーフ」は4回使われている。また、「マナーモード」の出現頻度が0回であったが、1998年当時はまだそれほど携帯電話が普及しておらず、「マナーモード」という和製英語が使われていなかったことによるものと思われる。しかし、この単語は携帯電話の普及とともに頻繁に使われるようになったので、本研究では含むことにした。

第3に、韓国語の影響の有無を確かめるために、全体の3分の1にあたる10種類は、韓国語の『NAVER 国語辞典』に掲載されたものから選んだ。これらは、韓国語にもある和製英語であり、Kopanishと呼ばれる単語である。これら10種類の内の「ワンルームマンション」は、韓国語では「ワンルームアパート」という表現で使われるのが普通であるが、この表現を韓国

語で使っても分かると思われるので含むことにした。また、これらの10種類の和製英語の頻度を、韓国国立国語研究院(2002)が作成した韓国語コーパス『現代国語使用頻度調査報告書』(この報告書は、www.korean.go.kr/bbs/pds.html からダウンロードすることができる)で調べた(表1を参照)。このコーパスは、2000年度から2002年度までの韓国語での使用頻度を掲載しているものであり、単語編、助詞編、語尾編、固有名詞編の4つに分類されているが、本研究で扱う和製英語は名詞であるため単語編で頻度を調べた。単語編の形態素数は、重なり頻度が58,437で、延べ頻度が1,484,463である。その結果、出現頻度が見つかったのは、わずかに3つの単語だけで、「アフターサービス」が4回、「ハイウェイ」が1回、「オープンカー」が1回だけであった。韓国語辞典に掲載されている10種類の和製英語であっても、コーパスでの出現頻度は極めて低いことが分かる。もちろん、韓国語の単語の出現頻度を調べるにあたっては、韓国語のコーパスの規模が小さいために、十分なデータであるとは言えないことも付け加えておきたい。

第4に、30種類の和製英語がどのくらい日本語母語話者に知られているかを確認するために、日本語を母語とする日本人大学生63名に、本研究で使ったのと同じ四者択一の問題を実施した。正答者数と正答率は、表1に記した通りである。正答率が70%以下になったのは、「テーブルセンター」の50.8%(63名中32名が正解)と「ホームドクター」の66.7%(63名中42名が正解)であった。他の28語については、すべて90%以上の正答率となった。正答率の低かった2種類の和製英語のうち、「テーブルセンター」は韓国語に存在し、「ホームドクター」は韓国語にはない。そこで、これら2語は、一般的な日本語母語話者が理解している語彙とは考えにくいので、本調査の和製英語の既知度と理解度の調査から外した。そのため、本調査の分析の対象とした和製英語は、日本語と韓国語にある和製英語が9語、日本語にのみある和製英語が19語で、合計28語である。

4.3. 質問紙と採点法

質問紙(詳細は補記を参照)では、まず本調査でとりあげる28種類の表現が、日本で独自に作られた和製英語であることを韓国語で説明したうえで、以前に聞いたことがある表現かどうかを尋ねた。聞いたことがあれば‘yes’(1点)、聞いたことがなければ‘no’(0点)にチェックしてもらった。したがっ

て、既知数は0点から28点までの量的尺度のデータとなる。この得点を、「既知度」とした。また、被験者には、28種類の各和製英語の意味を4つの選択肢から選んでもらい、この得点を「理解度」とした。既知度と同様に、正しく回答された場合を1点、誤答を0点とすれば、0点から28点までの量的尺度のデータとなる。これは、四者択一の28問テストの形式とみなすことができる。

理解度の測定に使用した四者択一の問題は、正答以外に、原則として2語から作られる和製英語の個々の単語の組み合わせから考えられる誤った意味を、3種類選択肢として作成した。例えば、「ペーパードライバー」であれば、正しくは、運転免許証は持っているものの実際には運転することのない人を意味している。しかし、英語の paper には新聞という意味もあるので、「新聞を読むことが好きな運転手(신문 읽기를 좋아하는 운전자)」ということも考えられる。また、「ドライバー」は運転手なので、「新聞配達人(신문 배달원)」という選択肢も作成した。さらに、「ペーパー」をそのまま紙という意味に解すると、紙で運転手の人形を作ることもできるので、「運転手の形をした紙人形(운전자 모양의 종이인형)」という選択肢も作った。

質問紙では、それぞれの和製英語について、まず日本語で表記し、次に、日本語で独自に使われる表現ではあるが、英語からの借用であることを示すために、英語でも表記した。さらに、日本語を学習した経験の無い学生にも尋ねたので、韓国語でも提示した。したがって、日本語、英語、韓国語の3種類を同時に示したことになる。例えば、「ポケットベル」であれば、英語の pocket bell, 韓国語의 포켓벨をともに表記した。この和製英語の意味の理解は韓国語で四者択一の問題とした。具体的には、「주머니 크기 만한 벨(ポケットくらいの大きさのベル)」、「매우 작은 벨(とても小さなベル)」、「벨 주머니(ベルを入れる布袋)」、「호출기(呼び出し機)」の中から正答を1つ選ぶようにした。この場合は、最後の「呼び出し機」を選べば正答となり、1点を得ることができる。

5. 和製英語の理解に関する統計的検討

5.1. 被験者の日本語の語彙力

本調査の韓国の日本語学習者は、日本語能力試験の1級に合格することを

目標にしている。そのため、公表されている日本語能力試験の過去の問題や練習問題はすでに勉強している可能性が大いにある。そこで、非公開の類似の問題を独自に作成する必要があった。「日本語の語彙力とは何か」については決定的な基準はないが、本研究では、「日本語能力試験の出題基準を習得している」ことを日本語能力の基準として考え、『日本語能力試験出題基準』を基にして、25問からなる日本語の語彙力の試験(各問1点、満点25点)を、四者択一の形式で作成した(松下・玉岡, 2003)。この語彙テストは、あらかじめ台湾で日本語を学ぶ中国語母語話者92名に対して実施しており、その時のクロンバックの α 係数は0.802で、信頼性は高かった。本研究では、和製英語の理解に対する日本語の語彙力の影響について調べるために、日本語の学習経験のある66名の韓国語を母語とする学生に対して実施した。

語彙力の試験の結果、平均が14.06点、標準偏差が4.44点となった。そこで、平均点に近い14点を取り、14点以上を日本語の語彙力の高いグループ、14点未満を日本語の語彙力の低いグループとした。したがって、語彙力の低いグループは4点から13点までの得点者32名(女性8名、男性24名)で、平均点は10.42点、標準偏差は2.34点となった。また、語彙力の高いグループは14点から24点までの34名(女性8名、男性26名)で、平均点が17.47点、標準偏差が3.00点となった。なお、日本語を学習したことのない韓国人母語話者の44名(女性28名、男性16名)については、日本語の語彙力は0とみなした。既知度と理解度について、6名に欠損値が含まれていたが、これは既知度については「知らない」、理解度については「誤り」であるとみなし、いずれも0点とした。被験者の合計は110名である。ただし、後に述べる項目応答理論による和製英語の項目特性の計算では、欠損値のある6名は外したので、104名での分析となっている。

5.2. 既知度と理解度の関係

韓国語母語話者全員($n = 110$)について、全和製英語28語の既知度(平均 = 14.13点、標準偏差 = 5.96点)と理解度(平均 = 20.98点、標準偏差 = 3.68点)の関係をピアソンの相関係数で調べた。その結果、相関係数は $r = .438$ で、この値は有意であった($p < .01$)。また、日本語と韓国語の両方に存在する和製英語19語については、既知度(平均 = 8.23点、標準偏差 = 4.56点)

と理解度(平均 = 13.92 点, 標準偏差 = 2.97 点)の相関係数は $r = .410$ で、この値も有意であった ($p < .01$)。さらに、韓国語にのみ存在する和製英語 9 語についても、既知度(平均 = 5.90 点, 標準偏差 = 2.05 点)と理解度(平均 = 7.06 点, 標準偏差 = 1.19 点)の相関係数は $r = .368$ で、この値も有意であった ($p < .01$)。このように、両変数には、中程度の相関がみられた。

しかし、既知度はあくまで聞いたことがあるかどうかという‘直感的’な尺度である。点数も、聞いたことがあれば 1 点、聞いたことがなければ 0 点としており、大雑把な指標である。一方、理解度は、四者択一のテスト形式で測定されており、正解であれば 1 点、不正解であれば 0 点としており、かなり厳密な測定尺度である。そのため、両者の尺度は測定の厳密さという意味で大きな違いがある。両尺度の相関係数も 0.50 を超えることはなく中程度であり、聞いたことがあるからといって、必ずしも四者択一の問題で正答しているとは限らないことが分かる。したがって、本研究では、あくまで四者択一のテスト形式になっている理解度に焦点をあてつつ、両者を別々の尺度と考えて分析および検討を行った。

5.3. 日本語と韓国語で共通した意味を持つ和製英語 9 種類での分析

日本語と韓国語で共通した意味を持つ和製英語 9 種類についての既知度と理解度を、日本語の語彙力で分けた 3 グループの一元配置の分散分析を行った。平均、標準偏差、分散分析の結果、シェフェの多重比較の結果を表 2 上段(1)に示した。

既知度については、日本語の語彙力の主効果は有意ではなかった [$F(2,107) = 1.434, n.s.$]。したがって、3 グループの間に、既知度の得点に有意な違いはない。既知度は、9 点満点中、日本語学習経験の無いグループの平均が 5.75 点、日本語の語彙力の低いグループの平均は 5.59 点、日本語の語彙力の高いグループの平均は 6.38 点で 3 グループとも類似した点数であった。一方、理解度については、日本語の語彙力で分けた 3 グループの主効果が有意であった [$F(2,107) = 6.390, p < .01$]。シェフェの多重比較で検討した結果、日本語学習経験の無いグループ(平均 6.64 点)と日本語語彙力の低いグループ(平均 7.13 点)には有意な違いはなかった。また、日本語学習経験の無いグループと日本語語彙力の低いグループの両グループは、日本語

表2 和製英語の既知度と理解度に関する日本語の語彙力についての分散分析と多重比較の結果

グループ	被験者数	和製英語既知度		和製英語理解度	
		平均	標準偏差	平均	標準偏差
(1)日本語と韓国語の両言語に存在する和製英語(韓製英語)の9種類(0から9までのデータ)					
A 日本語学習経験無し	44	5.75	2.46	6.64	1.31
B 日本語の語彙力・低	32	5.59	2.09	7.13	1.13
C 日本語の語彙力・高	34	6.38	1.21	7.56	0.86
分散分析の結果		$F(2, 107) = 1.434, n.s.$		$F(2, 107) = 6.390, p < .01$	
シェフェの多重比較の結果		—		<u>A</u> <u>B</u> <u>C</u>	
(2)日本語にのみ存在する和製英語の19種類(0から19までのデータ)					
A 日本語学習経験無し	44	6.82	4.54	12.11	3.05
B 日本語の語彙力・低	32	7.75	4.37	14.25	2.37
C 日本語の語彙力・高	34	10.50	3.95	15.94	1.74
分散分析の結果		$F(2, 107) = 7.255, p < .01$		$F(2, 107) = 22.687, p < .001$	
シェフェの多重比較の結果		<u>A</u> <u>B</u> <u>C</u>		<u>A</u> <u>B</u> <u>C</u>	

注:シェフェの多重比較の結果(有意水準は5%)は、A(日本語学習経験無し、語彙力0)、B(日本語の語彙力・低)、C(日本語の語彙力・高)によって示した。下線が引かれたものは有意な違いがなく、異なる下線のものとは有意な違いを示す。

の語彙力の高いグループ(平均 7.56 点)と有意に異なっていた。以上のように、和製英語が韓国語でも使用される場合は、既知度については 3 グループには違いがないが、理解度では日本語語彙力の高いグループが他の 2 つのグループより高いことが分かった。このことは、日本語の語彙力が高い場合には、韓国語にも存在する和製英語の理解も高まることを示している。しかし、韓国語母語話者全員($n = 110$)の既知度の平均が 5.90 点(標準偏差 2.05 点)で、9 語中の既知率が 65.56%なので、韓国語にも存在する和製英語であってもすべてを聞いたことがあるわけではないことが分かる。また、理解度は 110 名全員の平均が 7.06 点(標準偏差 1.19 点)で、既知度より 1.16 点高かった。9 語中の理解率は 78.44%でかなり高かった。

5.4. 日本語にのみ存在する和製英語 19 種類での分析

日本語にのみ存在する和製英語 19 種類(19 点満点)の既知度と理解度について日本語の語彙力で分けた 3 グループについての一元配置の分散分析を行った。平均、標準偏差、分散分析の結果、シェフェの多重比較の結果は、表 2 の下段(2)に示した。

まず、既知度について、日本語の語彙力の主効果は有意であった [$F(2,107) = 7.255, p < .01$]。シェフェの多重比較で検討した結果、日本語学習経験の無いグループの平均が 6.82 点、日本語の語彙力の低いグループの平均が 7.75 点と、両グループともに低く有意な違いはなかった。しかし、日本語の語彙力の高いグループの平均は 10.50 点で、他の 2 つのグループよりも有意に高かった。一方、理解度については、やはり日本語の語彙力で分けた 3 グループの主効果が有意であった [$F(2,107) = 22.687, p < .001$]。シェフェの多重比較で検討した結果、日本語学習経験の無いグループの平均は 12.11 点、日本語の語彙力の低いグループの平均は 14.25 点で、この差は有意であった。さらに、日本語の語彙力の高いグループの平均は 15.94 点で、他の 2 つのグループよりも有意に高かった。つまり、3 グループがそれぞれ有意に異なる結果であった。日本語の語彙力が高くなるにつれて、四者択一の問題形式で測った和製英語の理解度の得点が高くなるという結果となった。

また、19 種類の和製英語について、韓国語母語話者全員($n = 110$)の既知度の平均は 8.23 点(標準偏差 4.56 点)で、19 語中の既知率は 43.32%と半分

に達していない。さらに、理解度は110名全員の平均が13.92点(標準偏差2.97点)で、既知度より5.69点高かった。19語中の理解率は73.26%と、かなり高かった。

5.5. 和製英語に関する日本語の語彙力の影響についての考察

ここで重要なのは、両言語に存在する9種類の和製英語と日本語にのみ存在する19種類の和製英語の結果の違いである。まず、韓国語にも存在する9種類の和製英語については、既知度に違いはみられなかった。これは本研究の韓国語母語話者全員がほぼ同じくらいこれらの和製英語を聞いたことがあることを示している。しかし、日本語の語彙力の高いグループのみが、他の2つのグループよりも理解度が高かった。そのため、日本語の語彙力が高くなった場合に、この種の和製英語の理解にも貢献していると考えられよう。

日本語にのみ存在する19種類の和製英語の既知度では、日本語学習経験の無いグループと語彙力の低いグループに違いはなく、語彙力の高いグループに違いがみられた。豊富な語彙力を持つ日本語学習者は、多様な語彙に接しているために、和製英語でも聞いたことのある語が多かったようである。一方、理解度では、日本語の語彙力の低いグループが、まったく日本語を学習したことのないグループよりも得点が高かった。さらに、日本語の語彙力の高いグループは、語彙力の低いグループよりも得点が高かった。この多重比較の結果は、日本語の語彙の学習にともなって、特に日本語にのみ存在する19種類の和製英語について、理解力が養われていることを示している。

5.6. 項目応答理論に基づいて算出された個々の和製英語の項目困難度と実質選択肢数

本研究の和製英語の理解については、日本語の能力を測定することを意図してはおらず、むしろ個々の和製英語の理解について検討することを目的としている。しかし、四者択一のテスト形式を取っているので、項目応答理論(IRT: Item Response Theory; なお、項目反応理論とも呼ばれる)を応用して、個々の和製英語の特徴を簡単な数値で表すことが可能である。そこで、テスト理論の分析手法を取り入れて、個々の和製英語を分析することにした。

まず、これまでこの種の和製英語の理解を測定した先行研究や能力テスト

が存在せず、それらの研究やテストと本テストの相関を求めることができないので、本調査をテストであると想定した場合の妥当性(validity)を検討することはできない。しかし、本調査を28問からなるテストであると想定した場合、テストとしての信頼性(reliability)の検討ができる。欠損値(無回答)のあった被験者6名を外して104名で信頼性を計算した結果、クロンバックの α 係数が0.888となり、非常に高かった。

さて、この種の問題では、選択肢の難しさが正答率に与える影響(即ち、錯乱肢効果)も排除できない。例えば、4つの選択肢から1つを選ぶ場合に、和製英語の意味としてありそうな誤りが含まれていれば、それが正答を選ぶことを強く阻止していることも考えられる。そこで、本研究で利用した28種類の和製英語について、理解がどのくらい難しかったか、また誤った選択肢(錯乱肢)がどのくらい強く影響したか測定するために、項目応答理論(中村2002;大友1996;豊田2002)に基づいて、各和製英語の項目困難度と実質選択肢数(項目弁別力も計算したが、本研究では含んでいない)を算出した。それら2つの指標は表3および補記に示した通りである。

本研究で利用した項目応答理論のモデルは1パラメタ・ラッシュモデル(Rasch Model)であり、項目困難度(あるいは、通過率)を唯一のパラメタとして使っている。このモデルは、サンプルサイズが100くらいでもテスト項目の有効性を検討する手段として使えるので、大学などの日本語教育の現場でテストの開発を行う人達には有用性が高いと思われる。なお、計算は、中村(2002)に付属しているTDAP Ver. 2.0(Ohtomo, Nakamura & Akiyama, 1996-2002)というコンピュータソフトを使用した。このソフトでは、項目困難度、項目弁別力、実質選択指数(選択肢効果)の3つの特徴が、和製英語ごとに計算される。なお、個々の和製英語の項目困難度と実質選択肢数は、欠損値のあった6名の被験者を外して104名で計算した。結果は表3に示した通りである。また、各和製英語の4つの選択肢を選んだ104名中の人数と割合(%で表示)は、補記の実際の和製英語の質問紙に記した。

項目困難度(あるいは、どれくらいの比率で理解できたかという意味での通過率)は、0から1の間の数値をとる。0がもっとも難しく、1がもっとも簡単である。実質選択肢数は、選択肢として用意された正答以外の項目が魅力ある錯乱肢であるかどうかを示す指標である。本研究の最高点は、錯乱肢が3つであるので、正答1を加えて4となる。4になると、すべての回答が

表3 日本語学習経験および日本語の語彙力別にみた和製英語 28 種類の理解における正答者数、正答率、項目困難度、実質選択肢数およびクラスタ分析結果

クラスタ	調査に使用した和製英語	韓国語での有無	日本語の語彙力・高($n=34$)		日本語の語彙力・低($n=32$)		日本語学習経験無し($n=44$)		項目困難度	実質選択肢数(錯乱肢の魅力)
			正答者数	正答率	正答者数	正答率	正答者数	正答率		
分類IV	マイペース		33	0.971	31	0.969	33	0.750	0.90	1.48
	アフターサービス	○	33	0.971	29	0.906	28	0.636	0.85	1.71
	マナーモード		33	0.971	31	0.969	33	0.750	0.91	1.47
	ゲームセンター		33	0.971	31	0.969	32	0.727	0.88	1.64
	ワンパターン		32	0.941	30	0.938	31	0.705	0.88	1.59
	モーニングサービス		32	0.941	29	0.906	34	0.773	0.89	1.59
	ハイウェイ	○	31	0.912	28	0.875	33	0.750	0.83	1.83
	タイムサービス		30	0.882	29	0.906	32	0.727	0.86	1.74
	シルバーシート		33	0.971	28	0.875	30	0.682	0.85	1.78
	ワンルームマンション	○	33	0.971	31	0.969	39	0.886	0.96	1.23
	オープンカー	○	32	0.941	31	0.969	39	0.886	0.96	1.18
	モデルルーム		32	0.941	32	1.000	37	0.841	0.96	1.21
スキンシップ	○	33	0.971	32	1.000	41	0.932	1.00	1.00	
ライブハウス		32	0.941	27	0.844	37	0.841	0.89	1.54	
分類III	ベアルック		32	0.941	25	0.781	24	0.545	0.76	2.24
	ポケットベル		32	0.941	25	0.781	26	0.591	0.75	2.23
	ミスコンテスト		28	0.824	26	0.813	29	0.659	0.74	2.35
	ベッドタウン	○	27	0.794	25	0.781	25	0.568	0.72	2.19
	ゲームソフト		29	0.853	21	0.656	26	0.591	0.69	1.99
デッドボール	○	25	0.735	25	0.781	34	0.773	0.79	2.11	
分類II	ベーパードライバー		27	0.794	19	0.594	13	0.295	0.55	2.56
	マンツーマン	○	26	0.765	19	0.594	17	0.386	0.58	2.59
	ニューハーフ		26	0.765	22	0.688	14	0.318	0.57	2.88
	チャイルドシート		24	0.706	18	0.563	26	0.591	0.63	2.63
	レースクイーン		21	0.618	24	0.750	21	0.477	0.59	2.51
分類I	ダイアルイン		13	0.382	7	0.219	17	0.386	0.34	3.27
	ドクターストップ	○	10	0.294	7	0.219	16	0.364	0.30	2.91
	ツーショット		10	0.294	7	0.219	6	0.136	0.21	3.54

注1: クラスタ分析($n=110$)には、韓国語母語話者の3グループの正答率を使用し、28種類の和製英語を分類した。クラスタ間の距離はワード法、和製英語間の距離は平方ユークリッド距離を使った。

注2: クラスタ分析による分類は、25ポイントスケールの7ポイントで切って、3つの分類としたものを上記の表3に記した。

注3: 項目困難度と実質選択肢数($n=104$)は、項目応答理論に基づいて作られたコンピュータソフトTDAP(Ohtomo, Nakamura & Akiyama, 1996-2002)を使って算出した。詳細は、中村(2002)を参照。

同じ数の学習者に選択されたことになる。つまり、実質選択肢数は、実際に機能した選択肢数を数値化したものである。

5.7. 全和製英語についてのクラスタ分析による分類

本研究の3つのグループが、和製英語をどのくらい理解しているかを総括的に検討するために、クラスタ分析の手法を使って分類した。具体的には、日本語の語彙力で分けた3グループ(合計110名)について、それぞれの和製英語の正答率(正答者数を各グループの合計人数で割った数値)を使って、28種類の和製英語を分類して考察することにした。クラスタ間の距離にはウォード法を用い、和製英語間の距離は平方ユークリッド距離によって測定した。その結果は、デンドログラムで図1に示した通りである。

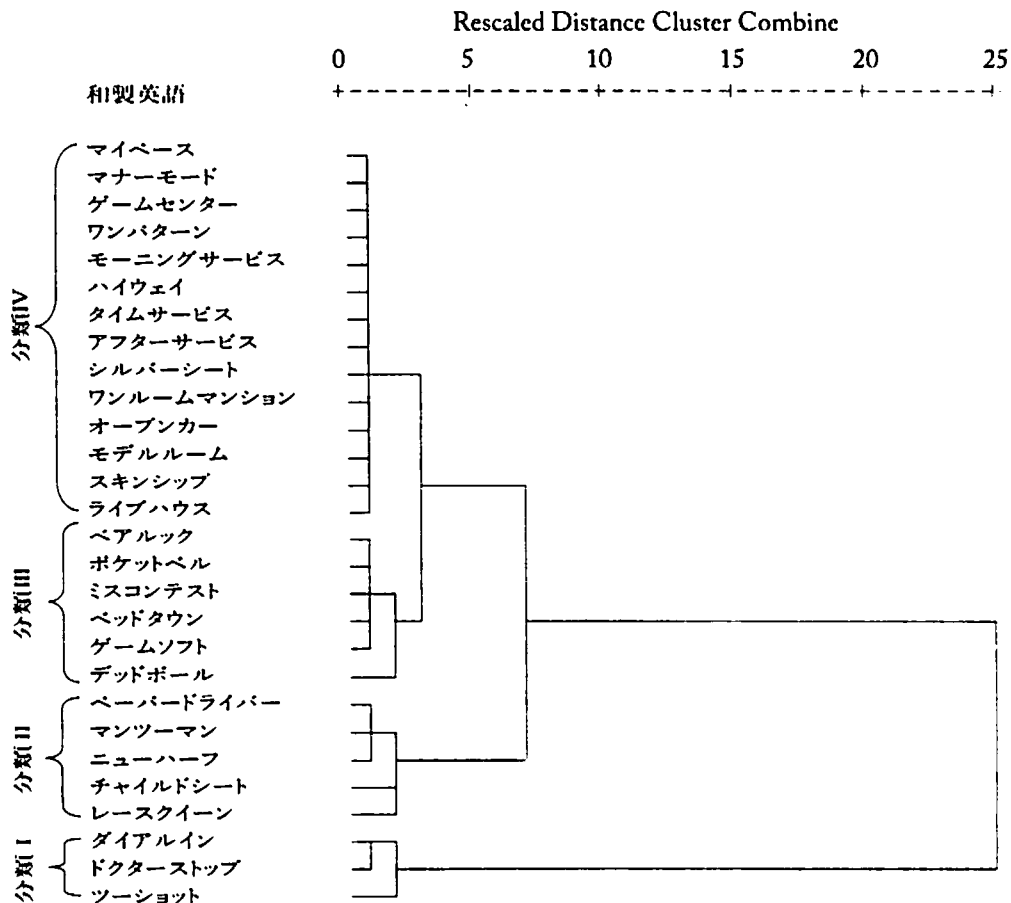


図1 和製英語 28種類のデンドログラム

注1: クラスタ分析(n=110)には、韓国語母語話者の3グループの正答率を使用した。

注2: クラスタ間の距離はウォード法、和製英語間の距離は平方ユークリッド距離を使用した。

クラスタ分析の結果、3ポイントを基準にすると、4つの分類が見いだされた。まず、分類Ⅰが、このクラスタ分析の手法で最高値である25ポイントの値で、分類Ⅱ、分類Ⅲ、分類Ⅳと大きく区別された。さらに、分類Ⅱと分類Ⅲおよび分類Ⅳが7ポイントの値で区別されている。さらに、分類Ⅲと分類Ⅳは、ほぼ類似しており3ポイントでの区別である。これら28種類の和製英語の4つの分類は、正答者数および正答率とともに表3に示した通りである。和製英語の項目困難度と実質選択肢数とクラスタ分析の結果をみると、クラスタ分析による分類と項目応答理論による2つの指標が、うまく対応していることが分かる。以下に、クラスタ分析の分類にしたがって、個々の和製英語の特徴について検討していく。なお、各グループの正答率およびクラスタ分析は合計が110名であるが、項目応答理論では欠損値を持つ6名を外しているため、各和製英語の項目困難度と実質選択肢は104名で計算している。

5.7.1. クラスタ分析で分類Ⅰに属する和製英語の特徴(3語)

分類Ⅰに分類されたのは、図1および表3に示したように、「ダイアルイン」、「ドクターストップ」および「ツーショット」の3種類の和製英語である。これらの3つの和製英語は、いずれも項目困難度が0.34より低く、難しい問題であったことを示している。また、実質選択肢数も2.91以上となっており、選択肢の錯乱枝効果も強かった。これらは、日本語の語彙力に関係なく3グループともに、理解度の正答率が低かった。以下、項目困難度の順に1つずつ詳細に検討していく。

まず、「ツーショット」は、表1に示したように、日本語母語話者63名が全員正答したので、非常によく知られた和製英語であることが分かる。しかし、表3および補記から分かるように、この項目は理解するのがかなり難しかったようである(項目困難度が0.21)。韓国語母語話者には、日本語で「男女が2人だけにいること」(104名中で22名が正答、21.2%)という意味を知らなくては、正答するのが難しい語であったようである。誤りのパターンとしては、「写真を2回撮る」を選択したのが104名中48名(46.2%)ともっとも多く、「ダブルカクテル」も104名中22名(21.2%)、「2人を撃つ」が104名中12名(11.5%)であった。「ツー」は「2つ」を意味しており、それが修飾する「ショット」は、英語のshotから「写真」「撃つ」などを連想さ

せるが、「撃つ」というより、「写真」を選択した被験者が多かったと推測される。また、「ショットバー」の「ショット」から「ダブルカクテル」という推測もあったと思われる。

2番目に理解が難しかったのは「ドクターストップ」である。日本語母語話者は、63名中60名(95.2%)が正答で、よく知られた和製英語である(表1を参照)。しかし、表3および補記のこの項目で示したように、韓国語母語話者には、項目困難度が0.30で難しい項目であった(実質選択肢数は2.91)。これは、「医者が選手の健康のために試合などを止めさせること」(104名中31名が正答、29.8%)が正答であるが、「医者」が仕事を「止める」と理解して、「医者のストライキ」と考えた被験者が104名中56名(53.8%)で、過半数を超えている。また、「医者」が「立ち寄る」と考えて「医者の訪問」としたのが104名中14名(13.5%)であった。「交通渋滞で動けない医者」を選んだのはわずかに104名中3名(2.9%)で、実質選択肢数が3以内であったのは、この選択肢がほとんど選ばれなかったことによる。

3番目に難しかったのは、「ダイアルイン」で、項目困難度が0.34、実質選択肢数が3.27であった(表3および補記のこの項目を参照)。表1にあるように、日本語母語話者は、63名中59名(93.7%)が正答であった。一方、韓国語母語話者で正答の「直通番号」を選んだのは104名中35名(33.7%)であった。英語のdial inがインターネットでは「ダイアルアップのサーバーに外部から呼び出しがかかってくること」を意味しているため、韓国語でも同様の意味で理解されることが予想される。しかし、実際には、その意味に関連した「コンピュータのモデム」と答えたのは、104名中わずか9名(8.7%)のみであった。むしろ、「電話をかけること」を選んだのが104名中48名(46.2%)でもっとも多かった。「指名通話」は104名中12名(11.5%)であった。

5.7.2. クラスタ分析で分類Ⅱに属する和製英語の特徴(5語)

表3および図1に示したように、分類Ⅱの和製英語は5種類である。それらは、「ペーパードライバー」、「マンツーマン」、「ニューハーフ」、「チャイルドシート」、「レースクイーン」である。表3をみると、これらの5種類の和製英語について、日本語の語彙力の高いグループは、79%から62%の範囲の正答率を示した。また、日本語の語彙力の低いグループは、69%から

56%の範囲のやや低い正答率を示し、日本語学習歴の無いグループは、59%から30%の範囲のさらに低い正答率を示している。この傾向を顕著に示した例として「ペーパードライバー」がある。表1に示したように、日本語母語話者では、63名中61名(96.8%)が、「運転免許証を持っているが、実際には運転することのない人」という正しい意味を選択している。これに対して、表3から分かるように(合計は110名)、日本語の語彙力の高いグループは34名中27名(79.4%)が正答で、日本語の語彙力の低いグループは32名中19名(59.4%)が正答である。しかし、日本語学習経験の無いグループは、44名中13名(29.5%)しか正答していないことから、日本語の語彙力の違いの影響がうかがえる。また、補記のこの項目の正答者数をみると、韓国語母語話者では、104名中57名(54.8%)が正答した。誤りは、ほとんどが「新聞配達人」の意味で、104名中39名(37.5%)が選んでいる。これは、英語の paper には、「新聞」の意味があるので、それに driver の「運転手」が結びついて「新聞配達人」と判断したのであろう。分類Ⅱの和製英語は、日本語に慣れ親しんでいなくては、理解が難しい和製英語であると思われる。

5.7.3. クラスタ分析で分類Ⅲに属する和製英語の特徴(6語)

分類Ⅲの和製英語は、「ベアルック」、「ポケットベル」、「ミスコンテスト」、「ベッドタウン」、「ゲームソフト」、「デッドボール」の6語であった。ただし、図1に示したように、「デッドボール」(3グループの正答率がほぼ同じくらい)だけは、他の5語と比べてやや異なる傾向がみられた。これらの和製英語は、「デッドボール」を除いて、日本語の語彙力の高いグループは高い正答率であり、次に日本語の語彙力が低いグループの正答率がやや低めになっている。日本語学習経験の無いグループでも、決して正答率が高くないものの、半分以上が正答している項目である。たとえば、「二人で同じデザインの服を着ること」の意味の「ベアルック」が挙げられる。まず、表1に示したように、日本語母語話者63名全員が正答で、日本人学生にはよく知られた和製英語である。また、補記のこの項目をみると、韓国語母語話者は104名中79名(76.0%)が正答しており、全体的によくできている。しかし、表3に示したように日本語の語彙力の高いグループが34名中32名(94.1%)、低いグループが32名中25名(78.1%)、日本語学習経験の無いグループが44名中24名(54.5%)と、順番に正答率が低くなっている。

5.7.4. クラスタ分析で分類IVに属する和製英語の特徴(14語)

分類IVには、14種類の和製英語が入っており、これらの和製英語は、全体的に正答率が高かった。実際、表3のこれらの項目をみると、「ハイウェイ」の項目困難度は0.83であり、もっとも簡単な項目となっており、全体的に理解度の高い和製英語であることが分かる。また、理解度が高いために、実質選択肢数も2以下であり、1に極めて近い和製英語もあった。ただ、その中でも、相対的にみて日本語学習経験の無いグループにとってやや難しかったと思われるのは、表3の分類IVの中で、44名中28名正答の「アフターサービス」と44名中39名正答の「ワンルームマンション」である。「アフターサービス」は、「商品販売後に、無料で修理や点検をすること」を意味しており、表1に示したように、日本語母語話者は63名全員が正答した。韓国語母語話者も正答率が高く、日本語の語彙力の高いグループが34名中33名(97.1%)、語彙力の低いグループも32名中29名(90.6%)が正答している。しかし、日本語学習経験の無いグループは、44名中28名(63.6%)と低かった。日本語学習経験の無いグループの被験者は、補記のこの項目から推測されるように、アフター(after)の意味を「後」、サービス(service)の意味を「教会のミサ」と考えて、「教会のミサの後にでる食べ物」(104名中8名、7.7%)としたり、after schoolを「放課後」と考えて「放課後の仕事」(104名中8名、7.7%)を選択していた可能性がある。英語のserviceには、「軍務」とか「兵役」の意味もあるが、「退役後の仕事」を選んだ被験者はいなかった。分類IVの14種類の和製英語は、若干正答率が低い場合があるものの、全体的によく理解できていた。

6. 和製英語の理解に及ぼす日本語の語彙力の影響に関する総括的考察

近年出版されているスポーツ、ファッション、コンピュータ関連の雑誌では、かなり高い頻度で外来語が使用されている。本研究は、日本語母語話者の90%以上が意味を正しく理解している2つ以上の英単語を組み合わせて作られた和製英語について調査した。調査では、韓国語母語話者を日本語の学習経験の無いグループ、日本語の学習経験はあるが語彙力の低いグルー

ブ、日本語の学習経験があり語彙力の高いグループの3つに分けて、28種類の和製英語について既知度と理解度を尺度として測定し、和製英語の理解に対する日本語の語彙力の影響を検討した。

まず、日本語と韓国語の両言語に存在する9種類の和製英語について、既知度と理解度に関する3グループを独立変数とする一元配置の分散分析を行った結果、3グループで既知度に違いはなかった。しかし、理解度については、日本語の語彙力の高いグループが、他の2つのグループよりも高かった。これら9語の内、「ベッドタウン」と「デッドボール」の理解度はそれ程高くなく、「マンツーマン」はさらに低く、「ドクターストップ」は非常に低かった。そのことから、韓国語にも存在する和製英語であるからといって、必ずしもよく理解できるとは限らないことが分かった。

次に、日本語だけに存在する19種類の和製英語について同じ分析をした結果、既知度が日本語学習経験の無いグループと日本語の語彙力の低かったグループとで同じになった。さらに、語彙力の高いグループは、これら両グループよりも既知度が高かった。ところが、理解度については、語彙力の低いグループは、日本語学習経験の無いグループに比べて高く、語彙力の高いグループは低いグループよりもさらに正しく和製英語を理解していた。以上の結果を総括すると、日本語の語彙力が豊富になると和製英語の意味の理解も養われていることを示している。

さらに、本研究では、3グループの正答率をもとにクラスタ分析で和製英語の理解について分類し、項目応答理論で項目困難度と実質選択肢数を算出して、個々の和製英語の理解について検討した。クラスタ分析の結果、図1のデンドログラムに示したように、4つの和製英語群に分類された。分類Ⅰ(3語)は、全体的に理解度の低い3種類の和製英語であった。この中には、韓国語にも存在する和製英語が1語含まれている。分類Ⅱ(5語)の和製英語については、全体的に理解度は高くないものの、日本語の語彙力の高いグループはある程度正答している。一方、日本語の語彙力の低いグループは半分くらいで、日本語学習経験の無いグループは、半分以下の正答率であった。分類Ⅲ(6語)は、たとえ日本語の語彙力の高いグループがよく理解できていても、他の2つのグループのいずれかが低いとか、あるいは全体的に同じくらいかやや低めの正答率であった和製英語である。最後に、分類Ⅳ(14語)は、日本語学習経験のある両グループとも正答率が高く、なおかつ日本

語学習経験の無いグループにおいても、かなり正答率の高い和製英語である。

以上のように、本研究では、和製英語の理解には、日本語の語彙力が影響していることが分かり、また和製英語の種類によって、語彙力の影響の程度が異なっていることを示した。しかし、本研究では、どのような日本語の語彙力や学習経験が、和製英語の意味を正しく推測する能力を養うのに関与しているかという問題について十分に検討できなかった。たとえば、韓国や中国で日本語を学習する大学生のほとんどが英語も学習している。英語の語彙力が高い場合には、和製英語の理解を促進することも考えられる。あるいは逆に、英語の service であれば「奉公」「勤務」「兵役」「礼拝」など多様な意味を知っているために、かえって和製英語が理解できにくくなることも考えられる。今後さらに、日本語ばかりでなく英語の語彙力をテストで測定して、日本語と英語という両言語から和製英語の理解を検討したい。

〔謝辞〕本研究は、文部科学省科学研究費補助金・萌芽研究(平成18年度～19年度)「英語母語話者と中国語母語話者における和製英語の知識と意味理解に関する調査」(代表者—柴崎秀子；課題番号18652051)の助成を受けて実施した。

参考文献

- 天野成昭・近藤公久(2000)「NTT データベースシリーズ第7巻 日本語の語彙特性—朝日新聞の語彙・文字頻度調査」三省堂。
- 天野成昭・近藤公久(2003)「NTT データベースシリーズ・日本語の語彙特性—第2期 CD-ROM 版」三省堂。
- 한국국립국어연구원 [韓国国立国語研究院](2002)현대국어사용빈도조사보고서 [現代国語使用頻度調査報告書](この報告書は、www.korean.go.kr/bbs/pds.html からダウンロードすることができる)。
- 橋本和佳(2004)「読売新聞社説の外来語—増加と停滞中心に」、『同大語彙研究』7号、16-25。
- 橋本和佳(2006)「Logistic 曲線による外来語増加過程のモデル化—大正から平成までの社説を用いて—」、『計量国語学』25巻7号、293-308。
- 橋本和佳(2007)「外来語の通事的推移—新聞社説を素材として」、『月刊 言語』36巻6号、30-36。

218 玉岡賀津雄・林 炫情(Lim Hyunjung)・池 映任(Chi Yeongim)・柴崎秀子

生島ヒロシ・武村秀雄・福永保代(1995)『英語と比較できる和製カタカナ語事典』創芸社。
石川谷滋(1987)『和製英語アメリカに行く』大修館書店。

金田一春彦(監修)(1999)『パーソナル カタカナ語辞典』学習研究社。

国立国語研究所(1964)『現代雑誌九十類の用語用例 第3分冊 分析』秀英出版。

国立国語研究所(2005)『現代雑誌の語彙調査—1994年発行70誌—』国立国語研究所報告
121。

国際交流基金・日本国際教育協会(2002)『日本語能力試験出題基準【改訂版】』凡人社。

松本安弘・松本アイリン(1988)『和製英語正誤事典』北星堂書店。

松下達彦・玉岡賀津雄(2003)『日本語語彙力テスト—四者択一式の25問テスト』未刊行。

中村洋一(2002)『テストで言語能力は測れるか—言語テストデータ分析入門』(大友賢二
監修)桐原書店。

大友賢二(1996)『項目応答理論入門—言語テスト・データの新しい分析法』大修館書店。

尾崎哲夫(2005)『英単語が自然に増える—和製英語「わたし流」活用術』集英社。

新村出(編)(1998)『広辞苑(第五版)』岩波書店。

彭飛(2003)『外国人を悩ませる日本語からみた日本語の特徴』凡人社。

柴崎秀子・玉岡賀津雄・高取由紀(2007)『アメリカ人は和製英語をどのくらい理解できる
か—英語母語話者の和製英語の知識と意味推測に関する調査—』、『日本語科学』21
号, 89-110。

豊田秀樹(2002)『項目反応理論 [入門編]—テストと測定の科学』朝倉書店。

脇山恰(1985)『和製語から英語を学ぶ』新潮社。

ウェインライト、アラン(2004)『これで通じる!—和製英語の徹底チェック』三省堂。

ウォルシュ、スティーブン(2005)『恥ずかしい和製英語』草思社。

山田雅重(1995)『アメリカ人の知らない英語—和製英語のすべて』丸善。

山田雅重(1996)『アメリカ人に通じない英語—和製英語のルーツ』丸善。

—————(玉岡)麗澤大学

(林)山口県立大学

(池)東京大学・学術振興会外国人特別研究員

(柴崎)長岡技術科学大学

Abstract

Understanding of Japanized English Loanwords by Native Korean Speakers

Katsuo Tamaoka, Hyunjung Lim, Yeongim Chi, and Hideko Shibasaki

The present study investigated the extent to which native Korean speakers understand the meanings of Japanized English loanwords (e.g., 'bed town', 'race queen', 'open car'). Native Korean speaking participants were divided into three groups; those with higher scores on a Japanese vocabulary test ('high vocabulary' group), those with lower scores on the same test ('weaker vocabulary' group), and those with no Japanese learning experience ('no leaning experience' group). Participants' familiarity with a total of 28 Japanized English loanwords (including 9 loanwords also existing in Korean) was determined (i.e., 'familiarity scores'). Participants were furthermore asked to identify the correct meaning of each item from among four possible answers (i.e., 'understanding scores'). While the three groups proved equally familiar with the 9 Japanized loanwords existing in Korean, the rich vocabulary group demonstrated a greater understanding of the meanings than the other two vocabulary groups. For the remaining 19 Japanized loanwords which do not exist in Korean, the rich vocabulary group showed higher familiarity scores than the other two groups, with neither of the latter showing any difference. In terms of understanding, the rich vocabulary group showed higher scores than the weaker vocabulary group, which in turn produced higher results than the group with no learning experience. These contrasting results suggest that rich Japanese vocabularies enhance capacity to understand Japanized loanwords. The present study also reported each case of the 28 loanwords based on classification by cluster analysis and indexes of these loanwords calculated by Item Response Theory (IRT).

補記 韓国語母語話者に対する和製英語調査のための質問紙

・다음 단어(No1 - No28)은 일본에서 독자적으로 만들어낸 Japanese-English로, 영어에는 없지만, 일본에서는 흔히 쓰이고 있는 표현입니다. (次のことば(No1 - No28)は日本で独自に作られた和製英語です。これらは本来英語にはない表現ですが、日本ではよく使われているものです。)

・이러한 Japanese-English는 여러분의 কাছে도 익숙한 표현입니까? 만약, 그렇다면 Yes에 체크를, 만약, 그렇지 않다면 No에 체크를 해 주십시오. (次の和製英語皆さんは聞いたことがありますか。もしあるとすれば Yesに、そうでないとすれば Noに、 チェックをしてください。)

・또, 각각의 Japanese-English의 의미는 A - D 중에서 하나에만 선택하여 해 주십시오. (また,それぞれの和製英語の意味をA - Dの中から一つずつ選び、 チェックをしてください。)

- | | |
|---|--|
| <p>1 도クター스톱 doctor stop</p> <p>닥터 스톱 56(53.8%)</p> <p>DIFF 0.298 14(13.5%)</p> <p>AENO 2.905 31(29.8%)</p> <p>3 (2.9%)</p> | <p>yes <input type="checkbox"/> no <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> 의사가 하는 과업 (医者のストライキ)</p> <p>B <input type="checkbox"/> 의사의 방문 (医者 の 訪問)</p> <p>C <input checked="" type="checkbox"/> 의사의 직사로 시험등을 그만두게 하는 일 (医者 が 健康 の ため に 試合 など を 止 め さ 세 는 事)</p> <p>D <input type="checkbox"/> 교통 체류에 걸린 의사 (交通 渋滞 で 動 け ない 医 者)</p> |
| <p>2 타임서비스 time service</p> <p>타임 서비스 2 (1.9%)</p> <p>DIFF 0.856 89(85.6%)</p> <p>AENO 1.738 8 (7.7%)</p> <p>5 (4.8%)</p> | <p>yes <input type="checkbox"/> no <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> (감옥에서의) 복역 기간 (監 獄 中 の 服 役 期 間)</p> <p>B <input checked="" type="checkbox"/> 가게에서 일할 시간대에 하는 할인 서비스 (店 等 で 一 定 の 時 間 帯 に 行 う 割 引)</p> <p>C <input type="checkbox"/> 일정 기간 교회에 봉사하는 시간 (一 定 の 期 間 , 教 會 で 奉 仕 す る 時 間)</p> <p>D <input type="checkbox"/> 봉사활동을 위해 개인 시간을 참 (奉 仕 活 動 の ため に 自 分 の 時 間 を 使 う 事)</p> |
| <p>3 라이브하우스 live house</p> <p>라이프 하우스 4 (3.8%)</p> <p>DIFF 0.894 1 (1.0%)</p> <p>AENO 1.544 93(89.4%)</p> <p>6 (5.8%)</p> | <p>yes <input type="checkbox"/> no <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> 살아 있는 해산물등을 조리해 주는 레스토랑 (生 の 魚 介 類 など を 調 理 し て く れ る レ ス ト ラ ン)</p> <p>B <input type="checkbox"/> 사랑스런 집 (愛 ら し い 家)</p> <p>C <input checked="" type="checkbox"/> 생음악이 나오는 술집 (바) (生 演 奏 가 聞 け る 바)</p> <p>D <input type="checkbox"/> 활기찬 사람들이 사는 집 (活 気 満 ち た 人 々 가 住 ン だ る 家)</p> |
| <p>4 모닝서비스 morning service</p> <p>모닝 서비스 5 (4.8%)</p> <p>DIFF 0.885 92(88.5%)</p> <p>AENO 1.590 1 (1.0%)</p> <p>6 (5.8%)</p> | <p>yes <input type="checkbox"/> no <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> 교회에서의 특별한 아침 (教 會 で 의 특 別 한 朝 食)</p> <p>B <input checked="" type="checkbox"/> 커피등에서 오전중에 하는 서비스 (喫 茶 店 等 で , 午 前 中 に 수 行 する 割 引 메 뉴)</p> <p>C <input type="checkbox"/> 아침 테니스 시험 (朝 의 테 니 스 試 合)</p> <p>D <input type="checkbox"/> 이른 미사 (晨 주 日) (早 朝 行 瓦 勒 教 會 의 미 사)</p> |
| <p>5 베드타운 bed town</p> <p>베드 타운 13(12.5%)</p> <p>DIFF 0.721 16(15.4%)</p> <p>AENO 2.189 0 (0.0%)</p> <p>75(72.1%)</p> | <p>yes <input type="checkbox"/> no <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> 주민들이 편히 살 수 있는 마을 (住 民 가 安 ら かに 居 勒 可 町)</p> <p>B <input type="checkbox"/> 쾌적한 지역 사회 (快 適 な 地 域 社 會)</p> <p>C <input type="checkbox"/> 마을과 같은 커다란 침대 (町 의 样 子 나 巨 大 な 베 드)</p> <p>D <input checked="" type="checkbox"/> 대도시 주변의 주택 지역 (大 都 市 의 周 邊 に 位 置 する 住 宅 都 市)</p> |
| <p>6 베어룩 pair look</p> <p>베어 룩 10 (9.6%)</p> <p>DIFF 0.760 79(76.0%)</p> <p>AENO 2.237 5 (4.8%)</p> <p>10 (9.6%)</p> | <p>yes <input type="checkbox"/> no <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> 서로 마주 보기 (二 人 의 人 가 互 이 見 づ 姆 的 有 事)</p> <p>B <input checked="" type="checkbox"/> 디자인과 색이 같은 옷을 입고 있는 것 (二 人 同 じ 데 지 宜 ン 의 服 을 着 勒 事)</p> <p>C <input type="checkbox"/> 남자(여자) 친구 보기 (彼 (她 女) 를 米 勒 事)</p> <p>D <input type="checkbox"/> 쌍둥이 (雙 子)</p> |
| <p>7 베어드라이버 paper driver</p> <p>베어드라이버 6 (5.8%)</p> <p>DIFF 0.548 39(37.5%)</p> <p>AENO 2.555 2 (1.9%)</p> <p>57(54.8%)</p> | <p>yes <input type="checkbox"/> no <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> 신문 읽기를 좋아하는 운전자 (新 聞 을 讀 姆 可 事 가 好 勒 可 運 轉 手)</p> <p>B <input type="checkbox"/> 신문 배달원 (新 聞 配 送 人)</p> <p>C <input type="checkbox"/> 운전자 모양의 종이인형 (運 轉 手 의 形 을 した 紙 人 形)</p> <p>D <input checked="" type="checkbox"/> 운전면허는 가지고 있으나 운전을 하지 않는 사람 (運 轉 免 許 證 을 持 っ 터 有 勒 可 人 , 実 際 には 運 轉 事 不 可 事)</p> |
| <p>8 실버시트 silver seat</p> <p>실버 시트 2 (1.9%)</p> <p>DIFF 0.846 5 (4.8%)</p> <p>AENO 1.777 88(84.6%)</p> <p>9 (8.7%)</p> | <p>yes <input type="checkbox"/> no <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> 아름다운 자리 (美 し い 座 席)</p> <p>B <input type="checkbox"/> 비싼 자리 (價 段 의 高 い 座 席)</p> <p>C <input checked="" type="checkbox"/> 신체 장애자나 노령자를 위한 우선석 (自 由 不 自 由 人 나 老 人 의 爲 勒 可 的 優 先 座 席)</p> <p>D <input type="checkbox"/> 중요한 사람을 위한 자리 (特 別 人 의 爲 勒 可 的 座 席)</p> |
| <p>9 투쇼트 two shot</p> <p>투 샷 48(46.2%)</p> <p>DIFF 0.212 12(11.5%)</p> <p>AENO 3.537 22(21.2%)</p> <p>22(21.2%)</p> | <p>yes <input type="checkbox"/> no <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> 사진 두번 찍기 (寫 眞 을 2 回 撮 勒 事)</p> <p>B <input type="checkbox"/> 두사람을 쫓다 (二 人 의 人 間 을 擊 っ 事)</p> <p>C <input type="checkbox"/> 더블 칵테일 (雙 倍 可 可 特 伊 爾)</p> <p>D <input checked="" type="checkbox"/> 남녀 둘이 있는 상태 (男 女 가 二 人 だ け 有 勒 可 事)</p> |
| <p>10 애프터서비스 after service</p> <p>애프터 서비스 8 (7.7%)</p> <p>DIFF 0.846 0 (0.0%)</p> <p>AENO 1.709 8 (7.7%)</p> <p>88(84.6%)</p> | <p>yes <input type="checkbox"/> no <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> 방과후 일 (放 課 後 의 仕 事)</p> <p>B <input type="checkbox"/> 해태후 일 (退 役 後 의 仕 事)</p> <p>C <input type="checkbox"/> 미사 후에 나오는 음식 (教 會 의 미 사 의 後 에 出 勒 可 食 物)</p> <p>D <input checked="" type="checkbox"/> 상품을 팔고 난 후에 드 수리할 해 주 는 일 (商 品 販 売 後 에 , 無 料 以 修 理 或 点 檢 을 做 勒 可 事)</p> |

11 뉴어-half new half
 뉴 험프 59(56.7%)
 DIFF 0.567 7 (6.7%)
 AENO 2.884 8 (7.7%)
 30(28.8%)

- yes no
- A 여장으로 여성으로 꾸미지 않는 남성(女装で女にしか見えない男性)
 B 아침에 (午前中)
 C 신선한 과일 반쪽 (みずみずしい果物の半分)
 D 하루의 첫 30 분간 (一日の最初の30分間)

12 마이페이스 my pace
 마이 페이스 7 (6.7%)
 DIFF 0.904 94(90.4%)
 AENO 1.482 2 (1.9%)
 1 (1.0%)

- yes no
- A 개인 심장 박동 조절 장치 (個人の心臓ペースメーカー)
 B (일 등용) 자신이 원하는 속도로 진행하는 것 (自分に合った進捗や方法)
 C 빨리 달리는 사람 뒤를 따라 달리는 것 (早く走る人の後ろを走ること)
 D 매우 천천히 걷기 (とてもゆっくり歩くこと)

13 만투어-man man to man
 만 투 맨 1 (1.0%)
 DIFF 0.577 10 (9.6%)
 AENO 2.589 33 (31.7%)
 60 (57.7%)

- yes no
- A 동성애 (同性愛)
 B 개인 의사소통 (個人的な意思疎通)
 C 사람 대 사람 (人間対人間)
 D 일대일 대응 (一人に一人が対応すること)

14 미스콘테스트 miss contest
 미스 컨테스트 77(74.0%)
 DIFF 0.740 7 (6.7%)
 AENO 2.348 11(10.6%)
 9 (8.7%)

- yes no
- A 미인 콘테스트 (美人コンテスト)
 B 경쟁심이 강한 소녀 (競争心の強い女性)
 C 여학생 모임, 동맹 (女子学生同盟)
 D 경쟁에서 결코 진적이 없는 소녀 (競争において決して負けたことのない少女)

15 원룸만션 one room mansion
 원 룸 맨션 1 (1.0%)
 DIFF 0.962 1 (1.0%)
 AENO 1.225 2 (1.9%)
 100(96.2%)

- yes no
- A 가장 좋은 아파트 (一番良いアパート)
 B 큰 아파트 (大きいアパート)
 C 작업실 (스튜디오) (スタジオ)
 D 1실 주거형 맨션 (一部屋だけのマンション)

16 모델룸 model room
 모델 룸 2 (1.9%)
 DIFF 0.962 100(96.2%)
 AENO 1.209 2(1.9%)
 0(0.0%)

- yes no
- A 편안한 방 (くつろげる部屋)
 B 판매용으로 만들어진 전시용 맨션 (展示用マンション)
 C 아름다운 방 (美しい部屋)
 D 쾌적한 아파트 (快適なアパート)

17 포켓벨 pocket bell
 포켓 벨 15(14.4%)
 DIFF 0.750 7 (6.7%)
 AENO 2.230 4 (3.8%)
 78(75.0%)

- yes no
- A 주머니 크기만한 벨 (ポケットくらい大きさのベル)
 B 매우 작은 벨 (とても小さなベル)
 C 벨을 넣기 위한 주머니 (벨 주머니) (ベルを入れるためのポケット)
 D 호출기 (呼び出し機)

18 레이스퀸 race queen
 레이스 퀸 61(58.7%)
 DIFF 0.587 34(32.7%)
 AENO 2.510 1 (1.0%)
 8 (7.7%)

- yes no
- A 자동차 경주를 응원하기 위해 있는 젊은 여자들 (カーレースを華やかにするためにいる若い女性)
 B 경주에서의 여성 우승자 (レースでの女性優勝者)
 C 기수의 여자친구 (レーナーの彼女)
 D 경주에서 가장 아름다운 여자 (レースで一番きれいな女性)

19 차일드시트 child seat
 차일드 시트 65(62.5%)
 DIFF 0.625 8 (7.7%)
 AENO 2.629 4 (3.8%)
 27(26.0%)

- yes no
- A 어린이를 위한 자동차 좌석 (子供のための自動車座席)
 B 학생 자리 (学生用の座席)
 C 작은 자리 (小さい座席)
 D 레스토랑에서의 어린이 좌석 (レストランの子供用の座席)

20 하이웨이 high way
 하이 웨이 11(10.6%)
 DIFF 0.827 86(82.7%)
 AENO 1.829 6 (5.8%)
 1 (1.0%)

- yes no
- A 시냇길 (近道)
 B 고속도로 (高速道路)
 C 가장 긴 길 (一番長い道)
 D 비싼 길 (料金の高い道)

21 오픈카 open car
 오픈 카 0 (0.0%)
 DIFF 0.962 4(3.8%)
 AENO 1.177 100(96.2%)
 0 (0.0%)

- yes no
- A 닫고지 않은 자동차 문 (閉めていない自動車のドア)
 B 자동차 전시 (自動車展示)
 C 지붕이 없는 자동차, 지붕의 여닫이가 가능한 자동차 (屋根のない自動車、屋根の開け閉めができる自動車)
 D 주인 없는 차 (所有者のいない車)

22 데드볼 dead ball
 데드 볼 82(78.8%)
 DIFF 0.788 9 (8.7%)
 AENO 2.107 6 (5.8%)
 7 (6.7%)

- yes no
- A (야구에서) 타구를 맞다 (野球で)ボールがバッターの体に当たること)
 B 반대 투구를 하다 (反対投球をすること)
 C 매우 낮은 공 (とても低い球)
 D 공에 맞아 죽다 (ボールに当たって死ぬこと)

222 玉岡賀津雄・林 炫情(Lim Hyunjung)・池 映任(Chi Yeongim)・柴崎秀子

23	스킨십	skinship		yes <input type="checkbox"/>	no <input type="checkbox"/>
	스킨 십	0 (0.0%)	A	<input type="checkbox"/>	피부 색(肌色)
	DIFF 1.000	104(100.0%)	B	<input checked="" type="checkbox"/>	친밀한 관계 형성을 위한 접촉(親密な関係を作るための接触)
	AENO 1.000	0 (0.0%)	C	<input type="checkbox"/>	사별(差別)
		0 (0.0%)	D	<input type="checkbox"/>	(에스키모인의)가죽을 입힌 카누(動物の皮を張った小舟)
24	ワンパターン	one pattern		yes <input type="checkbox"/>	no <input type="checkbox"/>
	원 패턴	1 (1.0%)	A	<input type="checkbox"/>	매우 독특한 디자인(とてもユニークなデザイン)
	DIFF 0.875	2 (1.9%)	B	<input type="checkbox"/>	명칭이(細かな人)
	AENO 1.588	10 (9.6%)	C	<input type="checkbox"/>	시시한 디자인(つまらないデザイン)
		91(87.5%)	D	<input checked="" type="checkbox"/>	같은 행동(모양)의 되풀이(同じ行動様式の繰り返し)
25	게임소프트	game soft		yes <input type="checkbox"/>	no <input type="checkbox"/>
	게임 소프트	72(69.2%)	A	<input checked="" type="checkbox"/>	소프트웨어 게임(ソフトウェアゲーム)
	DIFF 0.692	30(28.8%)	B	<input type="checkbox"/>	쉬운 게임(簡単なゲーム)
	AENO 1.992	2 (1.9%)	C	<input type="checkbox"/>	가볍게 말걸(軽くやさしくさわること)
		0 (0.0%)	D	<input type="checkbox"/>	남시 게임(釣のゲーム)
26	다이얼인	dial in		yes <input type="checkbox"/>	no <input type="checkbox"/>
	다이얼 인	9 (8.7%)	A	<input type="checkbox"/>	(컴퓨터)모뎀(コンピューターのモデム)
	DIFF 0.337	12(11.5%)	B	<input type="checkbox"/>	지명 통화(指名通話)
	AENO 3.268	35(33.7%)	C	<input checked="" type="checkbox"/>	직통 번호(直通番号)
		48(46.2%)	D	<input type="checkbox"/>	전화하다(電話をかけること)
27	게임센터	game center		yes <input type="checkbox"/>	no <input type="checkbox"/>
	게임 센터	2 (1.9%)	A	<input type="checkbox"/>	(수비의 위치)센터(内野の位置)
	DIFF 0.875	91(87.5%)	B	<input checked="" type="checkbox"/>	영상 게임 센터(料金を払ってゲームを楽しむ所)
	AENO 1.636	3 (2.9%)	C	<input type="checkbox"/>	게임 이론(ゲーム理論)
		8 (7.7%)	D	<input type="checkbox"/>	컴퓨터 게임(コンピューターゲーム)
28	마너모드	manner mode		yes <input type="checkbox"/>	no <input type="checkbox"/>
	매너 모드	3 (2.9%)	A	<input type="checkbox"/>	예의 바른 사람(礼儀正しい人)
	DIFF 0.913	2 (1.9%)	B	<input type="checkbox"/>	예의의 본 보기(マナーのお手本)
	AENO 1.471	4 (3.8%)	C	<input type="checkbox"/>	좋은 예의를 존경하는 경향(良いマナーを尊重する傾向)
		95(91.3%)	D	<input checked="" type="checkbox"/>	휴대본의 턱을 올리지 않게 한 상태(襟の首がならないようにした状態)

注 1: ✓는 정解を示す.

注 2: 数値と()内の%は、韓国語母語話者 104 名(欠損値があった 6 名は外した)中の選択者数と割合(%で表示)を示す.

注 3: DIFF は項目困難度(Item Difficulty Index)を、AENO は実質選択肢数(Actual Equivalent Number of Options)を示す.